

# 「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【緑区】

## 〈開催概要〉

日 時：令和3年10月23日（土） 10：00～11：30

会 場：プラザイースト 2階 多目的ルーム

参 加 者：14名（傍聴者0名）

市出席者：市長、都市経営戦略部

事 務 局：市長公室広聴課

開催テーマ：将来を見据え、さいたま市のまちづくりや市役所移転について考えよう

### 参加者との意見交換

#### ●参加者

##### 〈発言1〉

私は現庁舎地を教育のランドマークにするとよいと思います。埼玉県内における5月度の人口データを見ましたが、増加数の1位はさいたま市でした。その転入者の多くは川口市からでした。また、さいたま市は裕福な方が多いという印象も見受けられます。

浦和がつく駅名は8つあります。駅名に浦和を付けたい、浦和の魅力とは何でしょうか。

次に、0歳から14歳の転入超過数に目を向けますと、さいたま市は昨年、何と全国第1位なのですね。そして、コロナ前の全国学力テストでは、さいたま市の、特に中学生は全国トップレベルで高い評価を受けています。

一方で、さいたま市内に特段の観光資源は見当たりません。顕著な産業があるわけではありません。あるのは優秀な賢くなりたい子どもたちです。まさに人財。人財の「ざい」は財産の財で、材料の材ではありません。このまれに見る特色を开花させるのがさいたま市の進む道だと思います。

現庁舎地に、例えば東京大学の教育学部をはじめ、「東京大学浦和キャンパス」として誘致したらいかがでしょう。または「筑波大学附属さいたま中学高等学校」のような学校を開校するプランもよいかと思います。

誘致される側にとっても、資質にあふれた子どもたちが居住する環境で研究や教育が実践されるというメリットがあります。ちなみに、現在の筑波大学学長は子ども時代に北浦和で過ごし、県立浦和高校の出身と聞いています。故郷のために耳を傾けてくれるのではないかと思います。

最後に、この教育ランドマークで培った教育マインド、研究されたシステム、スキル、これらを市内の公立小中高校に伝え、未来のノーベル賞受賞者をこのさいたま市内で育てたいというのが私の夢です。

##### 〈発言2〉

市役所移転の件なのですが、それ自体はよいと思っています。市役所移転に当たっては、これからの世代のために、地味でもメンテナンスしやすく、維持費のかからない庁舎にしていただければよいと思います。例えば、奇抜なデザインだと後々メンテナンスが大変

だという話を聞きますし、ガラス張りの建物だと光熱費が多くかかるのではないかと思います。なので、そういう点も考慮して、地味でもしっかりしたつくりの庁舎にしていだければと思います。

また、現庁舎のことなのですが、ここを売却した金額と庁舎整備の基金を合わせるとほとんどお金がかからずに移転できるのではないかという話を聞いたことがあります。しかし、例えば跡地を美術館や技術センターにすると、運営を民間に委託したとしても、またそこで莫大なお金がかかると思います。なので、これはもう少し慎重に考えて、売却するなら売却し、跡地を盛り上げるというよりも、なるべくお金のかからない方法で考える方がよいと思います。

いくら副都心部がきれいで、そこによい施設がたくさんあったとしても、さいたま市は小学校が老朽化し、耐震性も不安です。新しい施設ばかりにお金をかけるのではなく、お金のかからないような方法を考え、ほかの施設にも目を向けてほしいです。

### <発言3>

さいたま市は文教都市と言われています。浦和高校、浦和第一女子高校がありますが、大学は埼玉大学しかないの、そうは思わない人もいるとは思いますが。県とも関連する内容ですが、聞いてください。

私は、埼玉県、さいたま市は男女平等の機会が与えられていないと思います。その理由は、高校の段階で男子校と女子校があり、入学の自由が奪われていることです。浦和高校に行きたい女子中学生は受験すらできないのはおかしいと思います。国や自治体はこうした差別を取り除く責務があります。浦和高校は公立高校です。県は県民に入学の機会を平等に与える義務があります。浦和高校が私立高校なら仕方ありませんが、私は、女子中学生が浦和高校を受験したいと思っているのではないかと思います。その女子中学生が合格するかどうかはまた別問題です。教育は人間の生活において全ての基本です。機会均等は平等の基本であり、全ての人に与えられるものです。

現庁舎地についてですが、私は埼玉大学に医学部をつくってもらって、その医学部の附属病院、そして看護学校を新設することを提案します。選挙のたびに立候補者は、さいたま市は人口に比べてベッド数が少ないと言っています。浦和美園に大病院がつくられるようですが、私も自転車で行ったことがあります、少し遠過ぎます。まちの真ん中に大病院をつくりましょう。

国立の埼玉大学が無理なら、市立で医学部の単科大学はいかがでしょうか。自前で医者を養成することは絶対必要です。さいたま市は政令指定都市です。高齢社会になっていきますので、医者を養成する医学部ぐらいは持ちましょう。

### <発言4>

まず、1点気になるのが、現庁舎が使えるのは令和18年までと言っていますが、なぜ移転を10年後と急ぐのかということ。コスト面含め今の御説明で何となくはわかりますが、200億円以上かかる新庁舎移転については、庁舎のイメージや場所について、じっくりと議論や精査をしていただきたいです。場所は、さいたま新都心であればバスターミナルのところが一番だとは思いますが、もう一度本当にそこでよいのか、今この現状で、ほかによい候補地がないのか、ということも含め、10年後と言わずに、今の現庁舎が使えるのであればじっくりと精査し、進めていただきたいと思います。

このコロナ禍において200億円以上という予算が取れるのか、先ほども意見が出ましたが、この新庁舎に予算をかけてほかのところがおろそかにならないのか、今後情勢がどうなっていくか誰にも予想できないと思いますが、ほかに使うべき予算があるのに、10年後にどうしても市役所を移転するという理由でそちらにお金を使うというのは少し違うと思うので、焦らずに、猶予があるのでじっくり考えてほしいです。個人的には、今の庁舎地の方が使いやすいという思いはあります。

### <発言5>

市役所のイメージは、きれいな暮らしに役立つ施設、多様で使いやすい施設です。

新庁舎整備については、憩いのスペースとして、コンビニや飲食店があり、生活にも繋がれるとよいと思います。また、椅子やテーブルを置いた、くつろげるスペースをつくってほしいです。さらに、医務室、会議室、市民の交流スペース、催し物などが開けるスペースなどがあるとよいと思います。庁舎の清掃については、一日のうち何回かは専門の方に任せた方がよいと思います。

現庁舎地利活用については、施設をつくるのであれば交通アクセスのよい場所にし、広報誌などでアピールするとよいと思います。また、安全面を考慮し、警備員を配置したり、地域の施設や病院などとも連絡が取り合えるようにした方がよいと思います。トイレはきれいに整備してほしいです。様々な暮らしの情報や案内を冊子にまとめて、施設内のコーナーに置いておくのもよいと思いました。

### <発言6>

市役所のイメージですが、なかなか市役所に行く機会がなく、あまりイメージは湧きませんが、市民の暮らしを支える、人間で言えば頭のような部分だと考えています。

移転について思うことなのですが、この計画では10年後に動かすということですが、10年といえば一昔であり、かなり社会情勢や技術環境が変わっていき、デジタル化も進んでいくと思いますので、そういうことに対応した市役所でないとならないと思います。

それにあわせて、市の職員の仕事の仕方も大きく変わってくると思いますので、様々な変化に対応できるような、フレキシブルなものをつくるのが一番だと思います。

デジタル化が進む一方で、逆に外部から攻撃されるようなリスクも増えると思うので、セキュリティ面をどれだけ強化できるか考慮し、また、そういった業務を担うような部署も必要だと思います。

新しい庁舎に対してですが、今は災害が多くなり、環境も変化しています。さいたま市は今のところあまり大きな災害はありませんが、そういう面にもすぐに対応できるようにしてほしいです。今、浦和の消防署に設置してあるような災害対策室は、多分新庁舎の方にその機能を移転すると思いますが、そこで市長自ら指揮を取れるように、対応を考えていく必要があると思います。

### <発言7>

市役所についてなのですが、子どもと一緒にいける市役所にしてほしいと考えています。市役所はどうしても厳粛な場というか、静かにしなくてはいけないイメージがあります。そうすると子どもと一緒にいけなから、誰かに預けて市役所に行くというシーンも見ました。ですので、子どもを預けるスペースが市役所にあるとよいと思いました。そこに子どもを預けることで、保護者の方は自分の用事を済ませることが出来ます。

さらに、その子どもを預けるスペースには、市役所を利用しない方も預けることができ、お母さんの息抜きの時間に充てられるような場所となればよいと思いました。美容室になかなか行くことができなかつたり、ずっと子どもと一緒にいて自分の息を抜く時間がなかつたりするというのが現状だと思うので、例えば市民に月に1回何時間、ここで子どもを預けることができますよというチケットをつくり、配布してはどうかと思います。そうすれば市役所の職員も子どもを預けることができ、市役所の中で完結することができます。せっかく子どもが多いまちですので、もっと子どもを預ける場所ができればよいと思いました。

### <発言8>

新庁舎整備についての意見を述べたいと思います。新庁舎整備の8つの基本理念に書い

である「防災中枢拠点として災害に対応できる庁舎」の中で説明がありましたが、2011年の東日本大震災のような大きな地震の際に多くの電話が繋がらなくなったということは、大きな問題だと思います。

こうした事態に対応できるように、浦和にある消防署との連携だけでなく、新庁舎の中にも消防署を設けるほか、すぐ市民を助けられるように警察署も小さいスペースでもよいので配置していただき、市民の安全を守れるような対応をしていただけるとよいと思います。

現在の庁舎の利用についてですが、今はコロナ禍ではありますが、グローバル社会です。オープンスペースを利用して様々な国の方に、それぞれの国の文化や芸術、料理などを通して日本人と交流してもらえれば、日本をさらに好きになってくれると同時に、さいたま市の魅力をより知ってもらえると思うので、そのように活用していただけるとよいと思います。

### <発言9>

新庁舎についてですが、先ほどの意見で子どもと一緒にいける場所となってほしいというものがありません。我々にとって区役所は身近ですが、市役所の本庁舎というのは全く縁がない状況です。だから新庁舎ができたとき、どんな建物かといくだけの1回限りになってしまうので、できたら子どもと一緒に継続して市民が参加できるような施設であってほしいと思います。

例えば新庁舎の1階に、テレビのある市民用の待合室や、市政の広報を行うスペースをつくると思います。そのような場所に、月に2、3回、昼休みなどに地元の音楽隊を呼んで演奏してもらってもよいと思います。そうしたことを通じて、市民が新庁舎に行ってみようという気持ちになるような、市民との接点の場を設けてほしいです。単なる市職員の仕事の間だったら、我々は関係ないのです。

## ◆市長

### >>発言1

教育のランドマークにしてはどうかとの御意見をいただきました。また、人口増加数の順位についても御紹介いただきました。さいたま市は全国学力・学習状況調査でも一昨年は政令指定都市で、小学校、中学校ともに1位で、英語については都道府県も含めて全国で1位でした。

また、0歳から14歳の転入超過数の話もありましたが、これについては昨年も含めて6年連続で全国1位であり、教育に対する思いを強く持っている方、重視されている方が浦和を選び、住んでいるというのが実態だと思います。アンケートなどでも約3割の方が、よりよい教育を受けさせたいとの理由で浦和区を選んでいるとのことでした。

そうした中、文教都市としてのシンボルになるような場所にするすることで、より浦和のブランド力や、さいたま市全体のブランド力の向上につながると思いますし、さらに多くの方に住んでいただけるようになると期待しています。さらに、東大や筑波大の附属校のお話など、いろいろと御提案をいただきました。そういった高度な教育機関の充実などについても、今後また御意見を参考にしながら検討していきたいと思っています。

### >>発言2

庁舎のメンテナンスについてお話がありました。非常に重要な視点だと思います。これから財政状況は非常に厳しくなると想定されていますので、そういった部分も十分に配慮していく必要があると思います。

また、財源のお話が出ました。おっしゃるとおりで、庁舎を売却してしまえば、短期的には事業による支出がほとんどなく移転できるということになるかもしれませんが、しかし、これから長い目で見ると、魅力的なまちにすることが持続可能なまちの発展につながって

いくのではないかと考えています。ただ、コスト面については十分に考えながら進めていく必要があると思っています。そういう御意見も大変重要なものですので、しっかりと留意しながら進めていかなければならないと思っています。

また、老朽化している学校が多いことも事実であり、課題がたくさんあることも認識しています。さいたま市の公立小中学校は162校ありますので、順次改修し、しっかり子どもたちの教育環境をつくっていきたいと思います。

### >> 発言 3

特に教育面で男女平等の機会が与えられていないとのお話ですが、お話のあった学校は県立高校なので、さいたま市からは言いようがないところもあります。さいたま市立の学校については、全て男女共学です。

私も県議会議員の時代がありまして、ちょうどそのときに男子校、女子校の話題が出ました。当時は、OBの方々も含めて男子校、女子校とそれぞれあった方がよいという意見もかなりありました。ただ、時代も変わってきた中で教育の機会均等を保障するということは、おっしゃるとおりすごく重要な視点だと思います。最終的には県や県議会の中で議論されていくと思いますが、さいたま市としても、教育の機会均等については非常に大事なことだと思います。

また、埼玉大学に医学部をつくってもらい誘致するといったお話や、さいたま市で医学部の単科大学設立という御提案をいただきました。課題はありますが、そういった声もありますので、課題の整理をしながら検討していきたいと思っています。

### >> 発言 4

庁舎の移転はまだ少し早いのではないかと、もう少しじっくり精査をし、検討していく必要があるのではないかと御意見がありました。こういった御意見をお持ちの市民も一定の割合でいらっしゃると思います。

10年後の庁舎移転を目指す理由の一つとして、先ほど現庁舎の状況をお話ししたときも触れましたが、建築後45年経ち、おおむね15年の間には新しい庁舎をどこかに建てないといけないという状況があります。その中で現在の場所で建てるのか、ほかの場所で建てるのか、検討してきたところです。現庁舎をあと15年使うという考え方もありますが、コスト面では6億円程度コスト削減につながるという試算が出ましたので、15年間使うということが最も望ましいという考えもありますが、10年後の移転という方向性を打ち出させていただきました。

また、老朽化が進むと、毎年修繕費がかなりかかります。修繕の必要性は、建築後60年に近くなればなるほど高くなります。そういったことも踏まえる必要がありますので、10年という移転期間で新しく建て替えたいと思っています。

もちろん浦和に市役所があることが望ましいと考える市民の皆さんもいらっしゃるということは、十分に理解しているところですが、現庁舎の状況や、これからのさいたま市のまちづくりを考えたときに、10年後にさいたま新都心に移転するということがあるべき方向性ではないかと考え、この方針を出しました。

私もかつては浦和に住んでいて、しかも庁舎のすぐ近くでしたので、私自身としてももちろん思い入れはあります。しかし、持続可能な発展をして豊かに暮らして生き続けられる都市になっていくためには、旧市の特徴や区の特徴を生かしながら、市全体のまちづくりを進めるための施策を十分に考えていく必要があると思いますので、今回御提案したところです。

### >> 発言 5

新庁舎にほしい機能について、多くの具体的な御提案をいただきました。

今いただいたそういった機能も含め、今後の新庁舎の在り方について、機能としてどのような形で盛り込んでいくのか検討していきたいと思います。

#### >> 発言 6

技術の進歩やデジタル化の話がありました。これからも技術の進歩は早くなると思います。デジタル化のスピードは私たちも想像ができないくらい進んでいくと思いますので、この方針の中にも盛り込んでいるつもりではありますが、そういった視点はとても重要です。市政運営にデジタル化を組み合わせ、フレキシブルな対応ができる施設や機能を十分に意識して進めていきたいと思います。

また災害面の対応については、御指摘のとおり重要な視点だと思います。さいたま市は、首都圏広域地方計画において、災害時の首都機能のバックアップ拠点という位置づけとなりました。2011年の災害のお話も出ましたが、さいたま市の安全を守るということはもちろん、さらに広い範囲で広域的な視点で安全なまち、災害に強いまちをつくっていかねばならないと考えています。

その点ではさいたま新都心には国の機関などもありますので、それらと連携しながら、災害に強いまち、庁舎、仕組みをつくっていきたいと思います。

#### >> 発言 7

子どもと一緒に行ける市役所にしてほしいという御提案がありました。非常に素晴らしい視点だと思います。

子どもさんや市民の皆さんが来庁したときに、必要な手続や相談に十分に対応できるような機能をしっかりつくっていく必要があると思います。

多くの手続や市民サービスは区役所が窓口になりますが、市役所本庁舎の方にも市民の皆さんが来るケースもありますので、そういったことも十分踏まえながら検討していきたいと思います。

#### >> 発言 8

防災のことで御指摘をいただきました。これからは防災という視点なくして、本庁舎はもちろん、いろいろな公共施設の建替え、改修はできないものだと思います。そういったことを十分意識していきたいと思います。

#### >> 発言 9

市民との交流に関して御提案をいただきました。多くのケースでは、市民の皆さんの場合は区役所を利用することになりますが、一方で本庁舎についても、お話のとおり講座等が開催されたり、市民の交流ができたりするような場にもしていく必要があると思います。そういったことも踏まえて検討していきたいと思います。

### ●参加者

#### < 発言 10 >

市役所のイメージについてですが、私はさいたま市が政令指定都市になってからこちらに参りましたので、区役所の方が市役所的な立ち位置になっていて、いつも入りやすくてよいと思っています。一方で、市役所は仕事で数回入っただけですので、そういう意味では、移転先がどちらであってもあまり私たちには関係ないのかなとも思います。ですので、勤務されている職員が不具合のないところで、よい形でよいお仕事をいただけるような施設になればよいというのが基本的な考えです。

そうはいうものの、防災についてはお話ししたいと思います。新庁舎を10年後に建てて、仮に60年使えるとした場合、ざっくり真ん中あたり35年後ぐらいで考えると、私の年齢が後期高齢者に入るか入らないかぐらいの年齢になってきます。今転入超過として入

ってきている子どもたちが、いわゆる働き盛りで中心的な人たちになっていくはずなのですが、その頃には高齢化がかなり進んでいる状況です。そうすると市役所自体もちろん、区役所が何かがあったときに頼れる場所であってほしいと考えています。

何かがあったときとは、家が壊れたときに助けてもらえるかどうかといった観点であったり、ものがあるかないかという観点であったりしますが、そうするとスペースの問題があると思います。職員数に掛ける何平米という形で広さは算定しているとは思いますが、そこを十分に配慮して、プラスアルファのスペースを残すような活用をしてほしいです。そうしないと、広域的なバックアップも含めて帰宅困難者が大分出てくることも想定されますので、対応し切れないのではないかと思います。

そのほかの、平時の機能は職員にとってよい形で進めていただければと思います。

### <発言11>

現庁舎の利活用についてですが、中学生や高校生に向けて開かれた365日開放している学習スペースのような場所があると嬉しいです。図書館は365日開いているわけではないですし、塾などでそういう勉強を確保することもできますが、家の経済状況にもよりますので、大人だけでなく子どもも自由に利用できるような学習スペースを検討していただけると嬉しいです。

### <発言12>

新庁舎のイメージということで、サービスだったり規模だったりいろいろな御意見が出ていますが、今後これらを踏まえて検討していくと思います。その中で、私も含め、市民の皆さんが本庁舎に行く機会は少ないと思うのですが、今の現庁舎は入ると殺風景に感じます。ここは本当にさいたま市役所だよね、と思うのと同時に、ではさいたま市とは何なのかとも思います。私は生まれも育ちもずっとさいたま市なのですが、地方の方とお話をすると、さいたま市とは何かと聞かれたときに考え込んでしまいます。

そうしたとき、浦和レッズがあるところだと言うと、それは通じます。最近、市長も力を入れていると思うのですが、スポーツのまち、さいたま市です。しかし、今日説明にあった文教都市というのは、初めて聞きました。こちらについては、アピールが足りないのではないかと思います。市外や県外の方にさいたま市を紹介するとき、さいたま市にはこういうものがあるのだとなかなか思いつきません。さいたま市ではうなぎは取れないと思うので、うなぎのまちというのも違う気がします。

さいたま市の特産物もわからないですし、さいたま市は勉強がすごい、全国1位を取ったということも今ここで初めて知りました。子育てに強いさいたま市のアピールも足りないと思います。庁舎の入口に入って浦和レッズの選手が11人並んでいるだけでは、サッカーしかないのかと思えてしまいます。ですので、新庁舎は建物に入った時点で、さいたま市とはこういうまちなのだ、市外の人にも、あるいは地元の人にもわかるような、自慢できる場所であってほしいです。さいたま市のブランドというものをアピールしてほしいです。

### <発言13>

先ほどいろいろな方から子どもも預かってもらえるような施設になればよいという話がありましたので、それに関してお話しします。去年のタウンミーティングでも言ったのですが、市では一時保育事業を行っていて、施設は公立、民間とあります。今はどこの一時保育施設もほとんど入れない状況です。短時間預けたい方や自分が病気になって子どもを預ける必要が出た方、子どもが病気になって付添入院するためにほかの子どもを預けなくてはならなくなった方など、様々な事情で預けたい方がほとんど預けられない状況です。

公立の一時保育施設は、見沼区、緑区、桜区だけがありません。これを改善していただきたいと思います。

もう一点、これは市の移転には関係ないのですが、HPVワクチンの件です。去年もこれは申し上げました。10月1日に、厚労省の専門部会で、勧奨再開の方向で今現在動いています。別の自治体でもコロナ禍で受けるのが遅れてしまった人に向けて定期接種を2年間延長するところが出てきています。千代田区、中野区、福岡市、札幌市などで定期接種の延長を始めています。なので、さいたま市でも是非、HPVワクチンの定期接種の延長を検討していただきたいです。勧奨再開はまだされていませんが、検討はされていますので、今から是非、延長を受けられなかった人に向けて受けられるようにしていただきたいです。

また、今さいたま市は予診票をもらいに行くのに、わざわざ平日の昼間に保健センターまで取りに行かなくてはなりませんので、改善していただきたいです。ほとんどの自治体は、電話したら送ってくれたり、郵送してくれたりします。ふじみ野市は医療機関に置いてあります。さいたま市としては、保健センターでいろいろなリスクの説明をするために来てもらっていると言っていますが、私が取りに行ったときには全くそんなことはなく、ただ紙を渡されただけでした。説明は医者が現地で接種する前にしっかりしてくれます。今は受けるためのハードルが高い状態です。今後勧奨は再開されると思いますので、HPVワクチンの受けやすい環境づくりと、広報に力を入れてほしいです。また、受けられなかった人に向けての延長をお願いします。

#### <発言14>

新庁舎については、アクセスの件も話題に出ると思いますし、私もだんだん歳を重ねて気になってくるようになりました。動く歩道をどこかに設置するという考え方はさいたま市にはないのでしょうか。例えばみなとみらいに行くと動く歩道が整備されているので、参考にするとよいと思いました。

それから、現庁舎地の活用なのですが、私のように数年先には仕事も辞めて、外でも何か新しいことを知りたい、学びたいという方もいると思うので、そういった市民に対していろいろな講座が開けるような、小さな大学の講義室のようなものを設置いただけるとよいと思います。例えば3、4回で完結するような講義をいろいろな著名な先生方にいただいて、様々な年齢の人が自由に参加し、新しいことが学べる場所をつくっていただけたらよいと思います。

また、そこに行くアクセスなのですが、多分10年後、15年後になると自動運転の乗り物などを走らせることができるのではないかと思います。そうするとスマートシティの小さい版みたいな感じで、モノレールなどをつくっていったら楽しいのではないかと思います。

#### <発言15>

市役所についてのイメージですが、脳卒中になる前は縁もゆかりもありませんでしたが、近くで商売されている方にとっては、市役所が移転されるということはとても痛手になると思いますので、少し心配です。

新庁舎の整備についてですが、タッチパネル方式や、音声案内、点字などを採用されたらどうかと思っています。あとは、部署が非常に多く、支援課でも複雑になっているので、カラー分け、グループ分けにした方が本庁舎に行ったときにはわかりやすいと思います。私は今いろいろなことで活動していますが、本庁舎に行くときとわかりにくいことがあるので、タッチパネルでの案内があればスムーズに行けるようになり助かります。

現庁舎地の利活用についてですが、今、浦和駅周辺のまちづくりに関わっている隈研吾さんが扱っている木材を使うとよいと思います。さいたま新都心は近代的な面がありますが、浦和というのは歴史があるので、木材を使った建物をつくり、その中でイベント事ができた方がよいと思います。

### <発言16>

これからのさいたま市を活性化させたり、所属意識を高めたりするための一つとして、移動手段の問題というのは非常に重要だと思います。新しい市役所ができるにしても、跡地利用にしても、バス業者と協議して、メインとなる施設や公園などを巡回できるようにして、1日楽しめるようにしてほしいです。家族連れでも車を使わないで、駐車場を使わないで移動できるような仕組みをつくってほしいです。

新庁舎のことですが、いろいろな御意見があると思いますが、さいたま市民のために10年もかけないで、もうある程度決まっているならば財政上の問題もあるでしょうが、早く新しいよいものをつくって、市民に夢を持たせていただきたいと思います。

### <発言17>

先ほど商売されている方にとっては庁舎が遠くなることでよいのか悪いのかというお話もありましたが、県庁との距離が遠くなると、市職員の仕事として問題はあるのでしょうか。市役所にはあまり行きませんが、市役所で決められている様々なことは私たちにとって大変な重要なはずですので、そこに何か問題があるのか気になります。

そこで先ほどの防災の話に入りますが、もしも県庁と離れても問題ないのであれば、市役所内の各部署が1か所にある必要はどこまであるのかという議論も是非していただければと思っています。さいたま市でその拠点がつぶれないとも限りませんから、つぶれた場合にはプランB、Cのような様々な代替案を考えておく必要が出てくると思います。そうすると、通常使用していないところを活用するのはどうなのかという議論や、常日ごろからある程度分散されている必要があるといった議論にもなってくると思います。その際に各区の区役所というのは恐らく拠点になり得るプランになると思います。区役所は市民にとってはアクセスのよい場所にあることが前提になっていますので、私たちにとっても安心につながるのではないかと思います。

今後高齢の方が増えてくる状況になりますので、身近に安心する場所があって、そのアクセスが保障されているということが、大きな安心につながっていくのではないかと思います。

### <発言18>

皆さんの御意見を聞いて一番感じるのが、公共施設には、育児をサポートするという面から、託児所などを併設していくとよいということです。こうした方針で進めていけば、全国のよいモデルになると思います。公共施設に行った際に子どもを預けることができれば、その間に保護者はいろいろなことができます。非常に素晴らしい市になると私は考えています。

### <発言19>

先ほどの市長からテーマ説明がありましたが、基本的には私は賛成です。

まだ10年先でどう変わるかわかりませんが、予想されることは、高齢者が現在よりも高い比率に増加していくということです。これを踏まえて、跡地活用の際は高齢者の福祉関係を考慮していくとよいと思います。

### <発言20>

施設の利用料金は安いほうがよいので、低コストでの庁舎建設や維持を実現するために、防災で地震に強い施設を目指すとともに、メンテナンスを重視してほしいです。

場所は消防署に近いところにあった方がよいと思います。

跡地については、さいたま市を活性化させるため、文教都市、物産の活用、個性を発揮する、都市機能を生かせるように考えていくとよいと思います。また、区画整理をしてまちを活性化して、明るい市街地にするとうよいと思います。

## < 発言 21 >

私は緑区に住んでおり、例えばこのプラザイーストを今後も使っていきたいと思っておりますが、市の公共施設ではW i - F i の環境が整っておらず、ここでも使えません。いくつかの関係部署にはお伝えしていますが、本庁舎の整備とあわせて直接提案させていただきます。

### ◆市長

#### >> 発言 10

市民サービスは区役所が主になるので、本庁舎の方は勤務している者にとって使い勝手がよいものがよいというお話と、災害時に広域的なサポートをするためのスペースは十分確保した方がよいというお話をいただきました。

本市には公共施設マネジメントという計画があります。これはできるだけ公共施設の維持管理にお金をかけないように、また建設費が無駄に高くないようにという視点からつくっています。一方で、さいたま市はあと10年ぐらいは人口が増加すると試算されており、それぞれの区役所は、対応するにはかなり手狭になっていくという実態もあります。

ですので、災害時に過度に多くのスペースをつくることはできないかもしれませんが、プラスアルファとして、いざというときに活用できるようなスペースを確保するという視点も十分踏まえていかなくてはならないと思います。現在は本庁舎以外の施設にも幾つか市役所の執務室等としての場所を借りていますが、なるべくそうならないようにしていかなくてはならないと思いますし、そういった意味でもフレキシビリティというのは必要だと考えています。

#### >> 発言 11

また、学習スペースのようなものを是非つくってほしいとこういった御意見をいただきました。

#### >> 発言 12

今の本庁舎は少し殺風景ではないかというお話と、さいたま市のイメージや目指していること、ブランドみたいなものを情報発信できるようなスペースがあるとよいという御提案をいただきました。

おっしゃるとおりだと思います。さいたま市の強みは、交通の利便性が高い、比較的災害に強い、それから教育、スポーツ、環境といった分野でも全国的にも大変先進的な取組をしているところでもありますし、そういった評価もいただいています。また、うなぎのお話が出ましたが、うなぎのほかにも鉄道、人形、盆栽といった市独自の文化を持っていますので、市庁舎を訪れた方がさいたま市の特徴やよさを実感できるようなスペースをつくるということはとても重要だと思います。そういったことを十分配慮して検討していきたいと思います。

#### >> 発言 13

一時保育のお話や、後ほど別の方からも、託児スペース、保育スペースみたいなものがどこの公共施設にもあるとよいのではないかと御提案もいただきました。

ありがたいことにさいたま市は、14歳以下の転入超過数が6年連続で全国第1位です。そういった子育てしやすい環境づくりをしていくという視点も、併せて検討していきたいと思います。

また、ワクチンの件は今回のテーマと外れますが、これについては国の方でおっしゃったような検討が進められているところですので、今後の推移を注視しながら、私たちもしっかり検討していきたいと思います。9月の議会でもそういった御意見を議員さんからも

頂戴しましたし、今後検討していきたいと思います。

#### >> 発言 14

動く歩道などアクセスしやすい環境をつくってほしいという御指摘をいただきました。これから超高齢社会が来るといってもありますので、そういったことなども含めている検討していきたいと思います。

これは施設だけではなくて、まちづくり全体に関わることだと思います。ほかの方からも御意見がありました。さいたま市としてはMaaS（マース）という、いろいろな移動手段で移動しやすい環境をつくっていこうという取組を進めています。緑区の美園地区でも、先般AIを使ったデマンド型交通サービスの実証実験を行いました。これからは、誰でも移動をしやすい環境づくりを進めることが、高齢化社会での社会参加の促進にもつながっていくと思いますので、まちづくりや交通の問題なども含めて検討していきたいと思います。

#### >> 発言 15

どの部署でどのようなことが行われているかがわかりにくいところもあるので、タッチパネルや色でわかりやすくしてほしいという御指摘をいただきました。また、現庁舎の跡地につくる施設についても、木材を活用したらどうかという提案もいただきました。

市民の皆さんから見ると、自分が困っている、あるいは相談をしたい内容をどの部署が担当しているかがわかりづらい面があると思います。それをできるだけわかりやすくする取組の一つとして、最近では福祉の分野について言うと、「福祉丸ごと相談センター」を一部の区役所内につくり、福祉の各分野を超えた包括的な支援の構築を目指しています。こういったことなども含めてわかりやすく対応できるようにしていきたいと思います。

#### >> 発言 16

市内の主要な施設がある場所、人がたくさん来る場所などを巡回できるようなバスを整備してほしいというお話がありました。これは交通の問題になると思いますが、これからの高齢化時代、非常に大きなテーマだと思っていますので、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

#### >> 発言 17

新庁舎は県庁に近くなくて大丈夫なのかという御指摘をいただきました。さいたま市は政令指定都市になりましたので、もちろん県と連携をする、あるいは意見交換をして調整をしていかなければならないこともまだ残っていますが、どちらかといえば国との連携の方に重点が移ってきています。ただ、防災については昨年からは政令指定都市も権限が付与されましたが、それでも県との調整が必要になります。しかし、県の近くに庁舎がないことは極端なデメリットにはならないと考えています。

また、庁舎を分散型にしてはどうかというお話もありました。そのような考え方もありますが、分散しすぎると意思疎通の面で少し課題が残ります。もちろん今はデジタルでどこにいても連絡が取れる環境にはなりつつありますが、分散をした際のコスト面も考えなければならないので、そういったことなども踏まえて今後の庁舎や、区役所と本庁舎の権限などについても十分検討し、考えていかなければならないと思っています。

#### >> 発言 18

公共施設に育児スペースを配置し、全国のモデルとなる都市になってほしいという御意見をいただきました。

#### >> 発言 19

高齢化時代になるので、それに対応した現庁舎地の利活用について検討してほしいという御要望をいただきました。

### >>発言20

施設の利用料金はできるだけ安くしてほしいというお話や、文教都市を目指してほしい、あるいは物産を活用した様々な取組など具体的な御提案をいただきました。

### >>発言21

W i - F iについて御意見をいただきました。これからさいたま市もデジタル化を進めていきますが、W i - F iについては既に一部の施設では活用できるところもある一方で、整備できていないところもありますので、しっかりとルールを作り、区と連携して検討していきたいと思っています。

今日は長時間にわたりまして、皆さんからいろいろ建設的な御意見を頂戴して、ありがとうございます。

私たちももう少し慎重に検討してほしいという御意見もあるとわかっていますが、実際に新庁舎をつくるとなると10年かかります。これから少しずつ構想をつくり、計画をつくり、それから実施計画、設計等々を行い、その後建てるだけでも3年はかかると思います。そういう意味では、今からいろいろ検討していかないといざというときには対応できない、明日すぐつくってくださいといってもなかなかできるものではありませんので、皆さんの声を聞き、しっかり精査しながら前に進めていければと考えています。引き続き皆さんからいろいろと御意見を頂戴していきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

今日はありがとうございました。

## ■補足説明

「0歳から14歳の転入超過」について

出典と時点については、以下のとおりです。

「住民基本台帳人口移動報告（2020年結果）」（総務省）  
（市長公室 シティセールス推進課）

「浦和区に転入された方の約3割が教育面を理由にしていること」について

令和2年度さいたま市民意識調査で、引っ越してきた人に、今の地域を選んだ理由を聞いたところ、「子どもの教育環境がよいから」と回答した人は、浦和区居住者で30.2%となりました。  
（市長公室 広聴課）

「幅広い年代、様々な国の方が交流できるオープンスペースとしての現庁舎地利活用」について

令和3年12月に策定した「新庁舎整備等基本構想」におきまして、現庁舎地の利活用の考え方の一つに「市民交流機能」があります。想定される具体的な機能としまして、「子どもから大人まで幅広い市民が多世代で交流できる機能」を掲げております。今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、具体化に向けて検討を進めてまいります。

（都市戦略本部 都市経営戦略部）

「一時保育の改善」について

一時保育施設については、公立保育園に限らず民間保育園も含め整備をしていくものと考えており、市全体として、施設数は年々増えてきているところです。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で休止をしている保育園もございますが、今後につきましても、子育てしやすい環境

づくりのため、公立・民間も含め、一時保育の充実について検討してまいります。  
(子ども未来局 幼児未来部 保育課)

#### 「HPVワクチンの接種機会の確保及び予診票」について

令和3年12月28日の国の事務連絡により、ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して公平な接種機会を確保する観点から、時限的に、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う、いわゆる「キャッチアップ接種」が計画されているとの連絡がありました。その中で、キャッチアップ接種の対象者は、平成9年度生まれから平成17年度生まれまでの女子、期間は、令和4年4月から令和7年3月までの3年間とされています。今後は、予防接種法施行令の改正が行われ、令和4年4月1日から施行される予定とのことです。本市としましても、国の動向に合わせて、準備を進めてまいります。

また予診票につきましては、令和3年11月26日の国の通知により、定期予防接種の個別勧奨が再開されたことを受け、令和3年12月から順次対象者の方に送付しております。引き続き、今回頂いたご意見を参考にHPVワクチンの受けやすい環境づくりに尽力してまいります。

(保健福祉局 保健所 疾病予防対策課)

#### 「幅広い年代が学べる市民大学のような場所としての現庁舎地利活用」について

令和3年12月に策定した「新庁舎整備等基本構想」におきまして、現庁舎地の利活用の考え方の一つに「教育・先進研究機能」があります。想定される具体的な機能としまして、「生涯にわたって学びを続けられる機能」を掲げております。今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、具体化に向けて検討を進めてまいります。

(都市戦略本部 都市経営戦略部)

#### 「市民に夢を持たせるような新庁舎」について

令和3年12月に策定した「新庁舎整備等基本構想」におきまして、新庁舎の機能理念の一つに「本市のシンボルとなる庁舎」を掲げ、さいたま市らしさを内外に発信するとともに、市民が集まり、市民自らが何度も訪れたいような思い入れを生み、まちへの誇りを感じるシビックプライドの醸成にも資する本市のシンボルとなる庁舎とすることとしております。今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、具体化に向けて検討を進めてまいります。

(都市戦略本部 都市経営戦略部)